



らみまる通信

JAPAN COAST GUARD



海上保安庁
第十管区海上保安本部
マリトレジャー安全推進室

NO. 9 号
平成 18 年 1 月 20 日

安全祈願、海の事故0への願い。

平成17年の事故に関する統計を行いました(速報) ～携帯電話豆知識～

平成 18 年を迎えてはや三週間が経とうとしている折、すっかり日常に溶け込んでいるところではないでしょうか。今年も非日常を求めて海へレジャーにお出かけの際は、気象の確認など事前準備を入念にお願いします。第十管区では、2月1日より海の安全情報* を新たに三角、串木野海上保安部からも発信し、従来の鹿児島、油津、名瀬の保安部と共に管内全ての保安部から情報提供を行うこととなります。

*) インターネットや携帯電話ウェブサイトを通じて、海上警報の発表状況や船舶への安全情報のほか、レジャー情報や灯台のライブカメラを利用したリアルタイム画像などを提供するサービス。

【平成 17 年の事故統計について】

昨年、マリトレジャーに伴う海浜事故に遭われた方は 67 人で、うち 32 人の方が亡くなりました。事故の活動別としては、磯釣り 遊泳 ダイビング サーフィン その他 の順となります。

月別の発生件数では、7～9月の夏場にやや増加する傾向があり、また前年と比較すると死亡者数はほぼ同数ですが、事故者数では増加しています。

全国の統計では、同事故者数が 799 人でありうち 285 人の方が死亡又は行方不明となっています。活動別では、遊泳中が最も多く次いで磯釣りの順となります。

【118 番への通報状況】

携帯電話の普及と通信エリアの拡大に伴い、海上保安庁への救助要請など 118 番通報も携帯電話を利用したものが増える傾向にあります。全国と十管区の統計値は以下のとおりです。また、間違いや無言電話等の割合は依然として高く、約 99% を占めています。

(十管区) 118 番による海難通報は 35%、その他レジャー中の事故等に関しては 22%。そのうち、携帯電話からのものが前者で 71%、後者では 52% となり半数以上を占める結果となりました。118 番以外の通報には、消防や警察からの通報などが挙げられます。

(全 国) 118 番による海難通報は 39%、その他レジャー中の事故等に関しては 16%。そのうち、携帯電話からのものが前者で 73%、後者では 28% となっています。十管区では海事関係者以外の方々から携帯電話で通報を受けるケースが全国平均に比べて多いようです。

【ライフジャケットの着用と生存率】

海中転落者のうち、ライフジャケットを着用していた人の割合は、船舶からの転落者が 40%、磯釣り中の転落者では 25% (平成 17 年全国統計) となっており、転落者の生還率は着用者で 8 割から 9 割であるのに対して、未着用者では 5 割前後に止まります。結果、ライフジャケットの着用が生存率の向上に寄与しているのは疑いのない事実です。

愛します! 守ります! 日本の海

あなたのそばに、JCG

海のもしもは、118番



【携帯電話の携行と通報に関する豆知識】

ご利用の携帯会社の**不感地域を確認**すると共に、現地に到着したら**通信感度の確認**を行うこと。

電池残量の確認と可能であれば予備電池、簡易充電器等の持参に心がけること。

(**寒冷時は電池部を温めてやる**と若干回復する場合がある。)

防水対策として防水バックやケースに入れて所持すること。

落下防止のため、ホルダーやネック・ストラップを取り付ける。

通話状態はアンテナ(携帯)を**地面に対して垂直**に持ち、**周囲に障害物のない場所**を選ぶと良い。

人体ロスによる感度低下(着信後、出ると切れる)は、**イヤホンマイク**を使用することで改善することができる。

通信感度が悪い場合は、**の**影響を受けにくく瞬時に全文を送ることができる**メール通信が有利**であるため、友人等を介して通報を依頼する。打ち込む手間は掛かるが、再送信も楽である。

通信可能エリアを求めて移動する場合は、**二次災難に十分注意**すること。

【通報時の注意事項】

南九州で 118 番通報を行った場合は、船舶電話など一部の電話器を除いて十管区本部の運用司令センターにつながります。ここでは、通報を受けると即座に巡視船艇、航空機等の救助勢力を現場に向かわせるとともに、関係機関等への通報も並行して行うので迅速な救援活動が展開されることとなります。通報時の注意事項等を受ける立場から列挙してみましたので、万一の際には参考にしてください。

通話の切り忘れに注意。過去に負傷者の看護に集中する余り、通話状態のまま携帯を放置した例がありましたが、こちらからの連絡ができなくなるばかりか貴重な電池の消費も大きいので落ち着いて行動してください。

第一に連絡すべき事項は、「場所」と「何があったか」。最低限、この情報があれば必要な勢力と装備をもって現場に急行することができます。海難現場では、通話状態が悪かったり電池の残量が少ない場合など、通話できる時間は非常に貴重なものとなります。

情報収集のためこちら側から電話する必要性があるので、ご自身の電話番号を暗記しておくか、忘れないように貼り付けておいてください。

118 番を忘れてしまいそうな方は、電話器内蔵の電話帳に登録するなど対応してください。

(実際に短縮に登録をされている方もありました。)

私の町、私の母港



今回は、下飯島にある奇岩「ナポレオン岩」です。何となくナポレオンの横顔に見えますよね。近くの小学校では山村留学をナポレオン留学と称しているようです。

【るりかけす 1号 平成 17年 12月 29日撮影】

自己救命策確保
～3つの基本～
必ず着用！ ライフジャケット
必ず持とう！ 携帯電話
もしものときは！ 118番
ライフジャケット着用者の生存率は約8割！



沿岸域情報提供システム

MICS: Maritime Information and Communication System



第十管区海上保安本部では、プレジャーボート、漁船などの船舶運航者や磯釣り、マリンスポーツなどのマリレジャー愛好者の方々などに対して、灯台で観測した気象情報などをリアルタイムに「海の安全に関する情報」としてホームページ、テレホンサービス、携帯電話等で提供しています。

気象観測マップ

第十管区海上保安本部

2月1日から
情報提供開始

四季咲岬灯台
(風向・風速)

細島灯台
(風向・風速・気圧)

射手崎灯台
(風向・風速)

戸崎鼻灯台
(風向・風速)

草垣島灯台
(風向・風速・気圧)

都井岬灯台
(風向・風速・波高)

佐多岬灯台
(風向・風速・気圧)

西之表港南防波堤灯台
(風向・風速)

種子島

笠利崎灯台
(風向・風速)

亀美大島

中之島灯台
(風向・風速・気圧)

国頭岬灯台
(風向・風速)
沖永良部島

都井岬ライブカメラ

佐多岬ライブカメラ

気象情報は、30分毎に更新しています。

2月1日より、全ての保安部から情報が発信されます。

三角海上保安部

平成18年4月から
「熊本海上保安部」へ変更

ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/misumi/>
携帯電話サイト <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/misumi/k/>
テレホンサービス 0964-48-2977



油津海上保安部

ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/aburatsu/>
携帯電話サイト <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/aburatsu/k/>
テレホンサービス 0987-22-0177
無線放送 1670.5kHz (毎時06分30秒~08分30秒)



鹿児島海上保安部

ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/kagoshima/>
携帯電話サイト <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/kagoshima/k/>
テレホンサービス 099-805-0177



串木野海上保安部

ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/kushikino/>
携帯電話サイト <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/kushikino/k/>
テレホンサービス 0996-21-2377



名瀬海上保安部

ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/naze/>
携帯電話サイト <http://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/naze/k/>
テレホンサービス 0997-55-0177



全国各地で同様な提供を行っています。詳しくは最寄の管区本部又は海上保安部まで